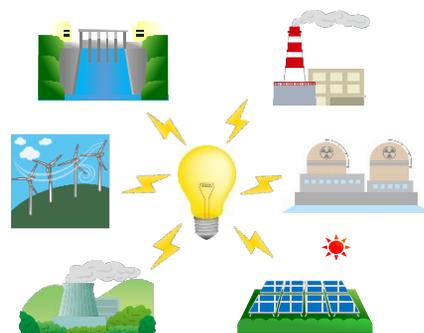


エネルギー環境教育 関西ワークショップのご案内

将来を担う子どもたちに、日本におけるエネルギー問題について、正しく知り、考え、判断し、選択・行動ができるようになる力を育成するために、エネルギー環境教育を推進し、その普及・促進に取り組んでいます。

また、エネルギー教育の「4つの視点(※)」をもとに、将来の日本のエネルギーを考える教育のあり方を検討しています。



※次ページ「SDGsとエネルギー環境教育」の項参照

先生！
質問！



電気って
どうやって
つくるの？

地球が熱く
なってるって
本当？

例えば

??ご存知ですか、エネルギー・環境問題??
日本は、エネルギーをどのくらい自給できている
でしょうか？（答えは中面をご覧ください）



📎 関西WSの活動

月に1回、研究会を開催しています

曜日：第3土曜日

時間：13:30～16:30

場所：大阪・梅田の貸会議室

（オンライン(Zoom)でも参加可能）

内容：日ごろの授業実践や授業案の報告、
意見交換、有識者による講演会など



新規会員
募集中



関西WS HP

学習指導要領とエネルギー環境教育

学習指導要領(平成29・30年告示)では、新しい時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力として、次の3つを柱とし、これらを主体的・対話的で深い学びによって育成することを目指しています。

- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力
- 学びに向かう力、人間性

エネルギー環境教育のねらいは、子どもたち自らが「持続可能な社会に必要な資質・能力」として、エネルギー問題解決に向けた判断力や行動力を育成することであり、教育課程と方向性は同じです。

エネルギー・環境問題は、実は、社会科、理科、技術・家庭科を中心に、いろいろな単元と関わりがあります。経済産業省資源エネルギー庁発刊の副教材

★かがやけ！みんなのエネルギー(小学校)

★わたしたちの暮らしとエネルギー(中学校)

では、学習指導要領を基に関連する単元を示しており、授業ですぐに使えるよう作成されています。ぜひご活用ください。



副教材



SDGs とエネルギー環境教育

SDGsは、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標で、17のゴールと169のターゲットから構成され、2030年までの達成を目指しています。その中で、エネルギー問題に直接関わりのある目標として次の2つがあります。

7：エネルギーをみんなに、そしてクリーンに

13：気候変動に具体的な対策を

また、次の目標は、エネルギー問題を考える上で大事な目標と考えられます。

12：つくる責任、つかう責任

一方、エネルギー環境教育では、対応すべき社会的課題として「4つの視点」を設定しています。

A：エネルギー安定供給の確保

B：地球温暖化問題とエネルギー問題

C：多様なエネルギー源とその特徴

D：省エネルギーに向けた取組

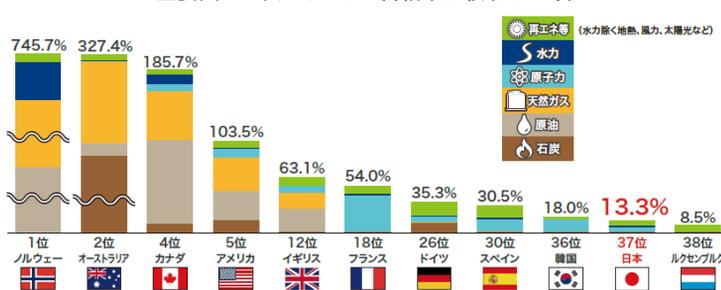
SDGsの目標達成には、この「4つの視点」が重要になります。



??ご存知ですか、
エネルギー・環境問題??
答え：13.3% (2021年)



主要国の一次エネルギー自給率比較(2021年)



出典：IEA「World Energy Balances 2022」の2021年推計値、日本のみ資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」の2021年度確報値。※表内の順位はOECD38カ国中の順位

会員（正会員）になるとできること

- メーリングリストにより、各種情報、会合の案内の随時配信
- 講演会・セミナー、シンポジウムへの参加（全体会時に開催）
- エネルギー関連施設見学会への参加（必要に応じて交通費支給）
- 「日本エネルギー環境教育学会全国大会」や「エネルギー環境教育フォーラム」への参加サポート（必要に応じて交通費支給）
- 会員が実施する公開授業への参加
- 地域や年代を超えた交流（授業実践や取組み方法の相談等）

講演会・セミナー

- ◆鉄鋼業界の「カーボンニュートラル」への取組とエネルギー政策上の課題
- ◆環境的に持続可能な交通(EST)の取組
- ◆第6次エネルギー基本計画の概要と最近の状況
- ◆GIGAスクール時代のプロジェクト学習
- ◆水素エネルギー最前線～国内外の取組について～
- ◆地層処分最新動向と広報ツールの紹介

(年2～4回)

シンポジウム

- ★「多様なエネルギー源とその特徴」の視点を授業でどのように扱うか
- ★地球温暖化問題とエネルギー問題の視点を授業でどのように扱うか
- ★GIGAスクールに対応したエネルギー環境教育のあり方
- ★エネルギーの安定供給の視点を授業でどのように扱うか

(年1回)

施設見学会

- JERA碧南火力発電所
- 川崎重工業神戸液化水素荷役実証ターミナル・水素CGSスマートコミュニティ実証地
- 大崎クールジェンプロジェクト(低炭素石炭火力)
- 東京電力福島第一発電所(原子力)・廃炉資料館
- 中国電力中央給電指令所・南原発電所(揚水)
- 美浜町エネルギー環境教育体験館さいばす・関西電力美浜発電所(原子力)
- 自然科学研究機構 核融合科学研究所

(年1回)

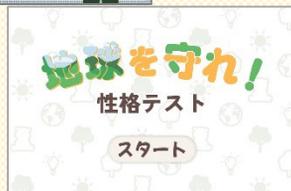


関西WSの活動

エネルギー環境教育授業案の発表と検討



デジタル教材の制作



エネルギー落語第二弾「地獄発電亡者の反省」の実演
◎小学校の先生(関西WS会員)です◎



書籍やブックレットの発行



関係団体との協力

経済産業省 資源エネルギー庁では、エネルギー教育の推進事業を行っています。事業を担うエネルギー教育推進事業事務局では、ホームページ（<https://energy-kyoiku.meti.go.jp/>）で学習コンテンツや情報の発信、エネルギー教育に取り組む学校、教員の支援を進めています。関西WSも、この事務局と協力、連携をとりながら活動を進めてきました。

その他、エネルギー環境教育に関係する各種団体と協力しています。



関西WS会員の報告資料より

「少し様子を見たい」という方におすすめ！『メール会員』

- ・正会員と同じメーリングリストにより、同じ情報を配信
- ・全体会、講演会等に、オンライン（Zoom）で参加（視聴）可能

事務局では

- 放射線に関する授業で使える実験機材の貸出し
①簡易型放射線測定装置「ラディ」 ②放射線源・遮へい模擬セット ③クルックス管
- 出前授業に関するご相談

も行っています。



ご入会希望やご質問・ご相談等は事務局までお気軽にご連絡ください。

＜エネルギー環境教育 関西ワークショップ 事務局＞

(株)原子力安全システム研究所 (INSS)
社会システム研究所 社会意識研究グループ
担当：大磯・西野

TEL：0770-37-9100（代表） FAX：0770-37-2008

メール：oiso@inss.co.jp（大磯）

knishino@inss.co.jp（西野）

関西WS HP：<https://kansai-ws22.1web.jp/>

